



進路資料室だよ

令和元年
7月16日

曇りがちな日々が続いており、あまり「夏」が感じられませんが、もうすぐ夏休みです。普段と違ってゆっくり進路について考えたり、家族と話し合ったり、学校見学に行ったりする時間がとれると思います。大切な時間を有効に活用して、自分の進路について考え、積極的に行動してください。

1 学期は、各クラスの進路係にたくさんの資料を配布してもらいました。配布した資料を使いながら、長いようで短い夏休みの過ごし方について考えてもらいたいと思います。

1 「自分の進路は自分で決める」



「入試要項」を取り寄せたり各学校のHPを見て研究しましょう。

2 年生の希望者には、今年も真女高一日大学として「夢ナビライブ」に参加してもらいました。各地から集まった高校生とともに講義や説明を聞いて、よい刺激になったと思います。感じたことや考えたことを自分の進路につなげていきましょう。そしてオープンキャンパスに参加しましょう。

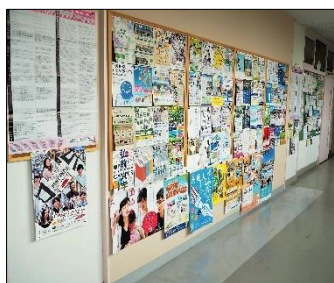
2 「進路についてよく話し合う」

夏休みには保護者懇談（三者懇談）が予定されています。面談の前に自分の将来をどのように考えているのか、実現のためどのように活動しているのかなど、保護者とよく話し合ってください。

自分の進路は自分で決めます。しかし当然ながら保護者の考えもよく聞いてください。とくに「お金（学費・生活費）」など、自分だけでは判断できないことについてもよく話し合ってください。



3 「学校を上手に利用する」



夏休みには前期と後期の課外があり、1 年生は「GTEC」や「フィールドワーク」などもあります。「予習→授業→復習」という学習サイクルは学期中と同じですが、疑問点などを積極的に「質問する」ことも重要です。課外のない午後は、質問の時間に充ててください。生活リズムを崩さないよう課外がない日も登校し、図書室（冷房あり）や進路学習室（扇風機あり）で学習するなど、学校を上手に利用しましょう。

4 「オープンキャンパスに参加する」



（参考） マナビジョン <https://manabi.benesse.ne.jp/> 「オープンキャンパスを調べる」
パスナビ <https://passnavi.evidus.com/> 「オープンキャンパスに行こう！」
テレメール進学サイト <https://telemail.jp/shingaku/p/index.php>

「大学研究」→「オープンキャンパス検索」 など

先日来校された教育関連企業の方から次のようなことを聞きました。「来年度、首都圏の大学のなかには、夏のオープンキャンパスを取りやめるところがあるらしい」とのことです。なぜでしょうか。そうです「オリンピック東京大会」があるからです。交通規制の問題もありますが、オープンキャンパスの学生スタッフ諸君が、ボランティアとしてオリンピックに関わる可能性が高く、実施が難しくなりそうだとのことです。（真偽のほどはわかりませんが…）

いずれにせよ1 年生と2 年生は、今年の夏は必ずオープンキャンパスに参加しましょう。

5 「大学入試について知る」

現在の大学入試制度は実に多様です。来年度は入試制度が変わりますが、諸君も大学の種別や入試科目などについて研究しましょう。各学年とも7 月の進研模試を受験しました。結果が戻ってくるのは8 月下旬ですが、スマートフォン等で自分の成績を確認することができます。現状を見つめて、今後の対策を考えましょう。

3 年生にとっての夏休みは、今まで以上に「本気モード」になる時期です。先日の学年集会で「1 日15 時間勉強しよう」といいましたが、決して不可能ではありません。「夏服を着ているうち」が稼ぎ時です。体調管理に気をつけつつ、充実した夏休みにしましょう。



6 進路資料室の利用

夏休み前ということで進路についての相談や「赤本」を借りに来る3 年が激増しています。最新の「2020 年版」は、これから発売されるものがほとんどですが、「2019 年版」はまだ書店に並んでいるかもしれません。また「古本」として販売されているものもあります。過去問が「赤本」になっていない大学の場合、独自に配布していることもあります。気になる大学の過去問は手に入れ、出題の傾向を研究しておきましょう。

